

大正四年六月二十一日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷一十三第

行發日一月八年五和昭

論叢

段別割論 法學博士 神戸 正雄

數學的經濟學の論理的構造 文學博士 米田庄太郎

貨幣の本質について 文學博士 高田 保馬

時論

米價基準設定に就いて 經濟學士 八木芳之助

說苑

國家經費の轉嫁に就いて 經濟學士 小山田小七

統計の解説、批判、解拆 經濟學士 蜷川 虎三

經濟表について 經濟學士 柴 田 敬

雜錄

生産費函數と生産費遞増減の法則 經濟學士 高 森 晋

歐洲諸國の建築工業に於ける失業の季節的變動 經濟學士 益田 熊雄

人口定數觀考 法學博士 財部 靜治

法令

正米市場規則

附錄

新着外國經濟雜誌主要論題

（禁轉載）

法 令

正米市場規則

商工省令第四號 (昭和五年四月十七日)

- 第一條 正米市場ヲ開設セントスル者ハ商工大臣ノ許可ヲ受クベシ
- 第二條 正米市場ニ於テハ米ノ外麥、大豆其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲモ賣買スルコトヲ得
- 第三條 正米市場ハ營利ヲ目的トセザル法人又ハ米ノ賣買若ハ其ノ仲立ヲ業トスル商人ノ組合ニ非ザレバ之ヲ開設スルコトヲ得ズ
- 第四條 正米市場ノ開設者ハ業務規程ヲ設ケ左ニ掲グル事項ヲ規定スベシ
 - 一 市場ノ名稱及位置
 - 二 賣買物件ニ關スル事項
 - 三 市場管理者ニ關スル事項
 - 四 市場ノ開閉ニ關スル事項
 - 五 賣買又ハ仲立ヲ爲ス者ニ關スル事項
 - 六 賣買又ハ仲立ノ方法ニ關スル事項
 - 七 市場開設者ノ收受スル手数料其ノ他ノ料金ニ關スル事項
 - 八 賣買又ハ仲立ヲ爲ス者ノ收受スル手数料其ノ他ノ料金ニ關スル事項
 - 九 標準値段ノ決定方法ニ關スル事項
 - 十 賣買ノ違約ニ關スル事項
 - 十一 業務規程ハ商工大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第五條 正米市場ノ開設者ハ市場管理者ヲ定メ之ヲ商工大臣ニ届出ツベシ
- 第六條 正米市場ニ於ケル賣買ノ受渡期限ハ賣買成立ノ日ヨリ起算シ五日ヲ超ニルコトヲ得ズ
- 第七條 正米市場ニ於ケル賣買ハ差金ノ授受ニ依リ其ノ決済

ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 正米市場ノ開設者ハ左ニ掲グル書類各二通ヲ作成シ

一 毎日標準値段表

二 毎日賣買高表

三 毎期收支決算書及事業報告書

前項第一號及第二號ニ掲グル書類ハ毎月末日之ヲ作成スベシ

第九條 商工大臣又ハ地方長官必要アリト認メタルトキハ正

米市場ノ業務ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ官吏ヲシテ正米市場

ノ開設者又ハ賣買若ハ仲立ヲ爲ス者ノ業務、書類、帳簿又

ハ財産ヲ検査セシムルコトヲ得

第十條 商工大臣必要アリト認メタルトキハ業務規程ノ變更

ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 商工大臣ハ正米市場ノ開設者、市場管理者又ハ賣

買若ハ仲立ヲ爲ス者ノ行爲ガ法令若ハ商工大臣ノ處分ニ違

反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ正米市場

ノ開設ノ許可ヲ取消シ又ハ市場管理者ノ改任又ハ市場ニ於ケ

ル賣買若ハ仲立ノ禁止若ハ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十二條 正米市場ノ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯

ナク之ヲ商工大臣ニ届出ツベシ

第十三條 本則ニ依リ商工大臣ニ差出スベキ書類ハ地方長官

ヲ經由スベシ

第十四條 許可ヲ受ケズシテ正米市場ヲ開設シタル者ハ三箇

月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十九年農商務省令第一號ハ之ヲ廢止ス

明治二十九年農商務省令第一號ニ依リテ許可ヲ受ケ本則施行

ノ際現ニ米ノ市場ヲ開設スル者ハ本則施行ノ日ヨリ二年ヲ限

リ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

(參照)

明治二十九年(三月二十一日)農商務省令第一號ハ米又ハ有

價券證取引市場設立ニ關スル規定ノ件ナリ。